

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-221976

(P2010-221976A)

(43) 公開日 平成22年10月7日(2010.10.7)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 3 H 5/125 (2006.01)	B 6 3 H 5/12	Z
B 6 3 H 5/16 (2006.01)	B 6 3 H 5/16	D
B 6 3 H 1/28 (2006.01)	B 6 3 H 1/28	Z
B 6 3 H 25/00 (2006.01)	B 6 3 H 25/00	A
B 6 3 H 21/17 (2006.01)	B 6 3 H 21/17	

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2009-74524 (P2009-74524)	(71) 出願人	000000099 株式会社 I H I 東京都江東区豊洲三丁目1番1号
(22) 出願日	平成21年3月25日 (2009. 3. 25)	(71) 出願人	599035627 学校法人加計学園 岡山県岡山市北区理大町1-1
		(74) 代理人	100068021 弁理士 絹谷 信雄
		(72) 発明者	長屋 茂樹 東京都江東区豊洲三丁目1番1号 株式会社 I H I 内
		(72) 発明者	辻 憲彦 東京都江東区豊洲三丁目1番1号 株式会社 I H I 内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ポッド推進器

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 舵とガイドベーンとを一体化したものをプロペラの後部に設けることで、ポッドの後部での流れの剥離を抑制して、船舶の保針性を向上させると共に、プロペラの回転によって生じる旋回流を推力として効率良く回収する。

【解決手段】 船体から下方に延出させて設けられ、上下方向軸廻りに回転可能なストラット12と、ストラット12の下端に設けられたポッド13と、ポッド13の前端部に回転可能に設けられたプロペラ14とを備えたポッド推進器10において、ポッド13の後部にストラット12より後方に設けられ、ポッド13から上方に延出する第一舵板16と、ポッド13の後部にストラット12より後方に設けられ、ポッド13から下方に延出する第二舵板17とを備え、第一舵板16及び第二舵板17はそれぞれ、その前縁部に形成されプロペラ14の回転によって生じる旋回流に沿った向きに湾曲する反り16a、17aを有する。

【選択図】 図1

